

令和5年度 多職種連携強化研修会アンケート集計結果

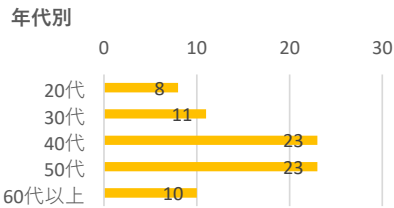
【参加人数】

	申込者数	参加者数	参加率
申込数	87	84	97%

(スタッフ9名含む)

【アンケート】

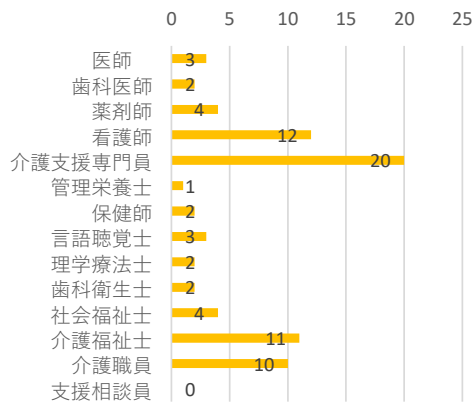
>回収数		75
>性別	男	27
	女	48
	計	75
>回収率		89.3%
>年代別		
20代		8
30代		11
40代		23
50代		23
60代以上		10
計		75



>職種(複数回答あり)

医師	3
歯科医師	2
薬剤師	4
看護師	12
介護支援専門員	20
管理栄養士	1
保健師	2
言語聴覚士	3
理学療法士	2
歯科衛生士	2
社会福祉士	4
介護福祉士	11
介護職員	10
支援相談員	0
計	76

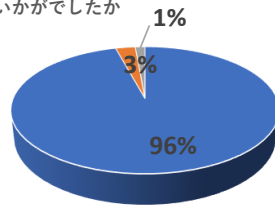
職種(複数回答2件)



>講演時間はいかがでしたか

ちょうど良かった	68
長かった	2
短かった	1
計	71

講演時間はいかがでしたか

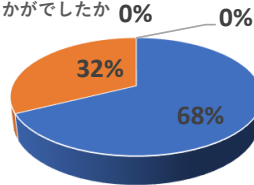


■ちょうど良かった ■長かった ■短かった

>講演内容はいかがでしたか

非常に良かった	48
良かった	23
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
計	71

講演内容はいかがでしたか

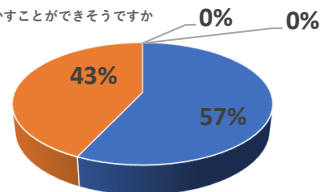


■非常に良かった ■良かった ■あまり良くなかった ■良くなかった

>今後の活動に活かすことができそうですか

とても参考になった	41
参考になった	31
参考にならなかった	0
どちらでもない	0
計	72

今後の活動に活かすことができそうですか



■とても参考になった ■参考になった ■参考にならなかった ■どちらでもない

研修を受けてのご感想やご意見をご自由にお書きください。	
2	疑似体験が出来、少しではありますが、認知症当事者の気持ちがわかったと思います。
3	映像が多く気持ちが入りやすくよい研修でした。 初期の関わり方が重要だと学んだ。
5	【徘徊】という言葉を使わなくなった目的をよく理解して、認知症を生きる人の訴えを正しく理解したい。
6	認知症になった人が一番はがゆい思いをしている。 介護者が正しい介護をするだけでなく、当事者が困っていることをサポートすることが大事。 疑似体験→感情体験できました。
7	改めて認知症について学び、考えさせられ、とらわれていた印象等ほぼ全てが更新されたように感じます。今後どのように伝えどのように実行実践ができるかするか考えたい。
8	とてもいいお話でした。もっと多くの人に見て（体験）して頂きたいと思いました。
10	初めてVR体験が出来てとてもよかったです。 特別な支援はせず普通に困った時には支援をする。誰もが普通に。
11	VRはとても良かった。初めての経験だった。 認知症について社会で考えていくという視点で良かった。“病気”“疾患”というイメージが強いが周囲の人の対応で社会で過ごしていけると思いました。医療職の研修とは一味違って良かった。“認知症の人”と見るのではなく、その人自身を見ていくことが大切。
12	丹野さんのインタビューの中でとても心に残りました。 認知症の研修を何度も受けてきましたが、より具体的にどの様に感じているのか、どのように思っておられるのかということを学ばせて頂きました。 共感していけるように手助けやサポートをしたいと思いました。
13	ムービーや当事者の思いを知り、参考になった。 VR体験で当事者の視点の体験できたことで改めて当事者の心理を感じる事ができた。 講師の方の進行も分かりやすくとても良かったです。
14	認知症にのり方の接し方や考え方をあらためて考え直すきっかけとなりました。 私自身この仕事について様々なことを学んできましたが、また認知症への考えが変わる。 いつまでも学び終わることのないこと。
16	認知症のご本人の思いや気持ち等をあらためて考えて、行動や接し方等も変えていかないと思いました。 今後は今回の研修で学んだことを役立てたいです。
17	VR体験をさせていただき、認知症の方ご本人様がどう見えているかを体験が出来て、今後どのように対応していったらよいかを考えさせられました。

18	認知症VR体験で高齢者の歩行時の怖さや不安が少しは理解できたと思います。(今まではこうだろうと思っていたのがVRで)
19	日頃の業務の際、意識したいと思えることが多くありました。 すぐに活かすことは難しいとは思いますが、心に留めることにも意味があるかなと思います。 職場内でも共有していけたらと思います。
20	報道の力は時には恐ろしい影響力を発揮するが、正しく活用することによってより良い社会の実現に近づけることは可能となるであると思った。 「認知症のイメージ」は今も変遷の最中であると思い、この「認知症」に対する向き合い方を今後も考えて行きたいと
22	研修自体が資料だけでなく映像やVRを交えた内容があり、受け易いと感じました。
23	認知症抱えた利用者と家族の気持ちを聞き寄り添った支援を今後も 考えていきたい・ 体で感じたVR体験参考にさせていただきます。
24	認知症の方の利用者様への家族様に理解していただくことが難しい。どのように伝え、わかっていることが困難になっている現状です。課題が色々出てくることだと思うので、本日の研修の事も伝えて少しでも理解してもらえたらと思いました。ありがとうございました。
25	病院では 中～重度の認知症の方が多く、そのイメージが強くなっていましたが、軽度の方への目を向ける必要性を感じました。 点ではなく、その人の人生として接する事を今後活かしていこうと思います。
26	VRを使用した擬似体験をさせていただいて想像以上に知っているものが異なって見えることに対して恐怖心を抱きましたし、周りの環境(物的・人的)が与える影響も大きいものを実感しました。丹野さんのVT Rでもあったように、病気を通してその人を見るのではなく、その人をしっかり見ることの大切さも改めて感じました。
28	これまで知識としては分かっていたつもりでしたが、VRや動画、また、講演の中で認知症になったとしても主体的に人生を生きるということの意味をかみしめることができました。ありがとうございました。
29	認知症というと、どこか自分が高い所からの物言いという感覚があったが、それではいけないという事がとても心に響いた。自分を見返し今後に繋げていきたい。
30	研修の内容がネガティブなものとかまえてきたがそうではなかった。病状のある方に対して講演を受けポジティブに接していけると思えるようになった。やわらかな話し方で内容がスーッと入ってきた。暗く重い話とかまえての参加だったので、これから自分でも本を読んだり学びを広げて行こうと思う。長谷川先生のお話も感銘を受けました。良い機会を有難うございました。
31	有意義な体験をさせてもらってよかったです。 人は連続して生きると胸に刻みます。
33	認知症に対しての理解をより深めることができ、普段介護をしている中で関わり方を見直しすることが出来ました。施設で働く中でチームに今回の研修を活かせるように取り組んでいきたいと思いました。
34	VRで実際に体験し、とても理解できた。

36	VR体験の錯視体験がとても参考になりました。
37	認知症について 日頃より相談を受けたり、啓発を行っていますが違った視点で違った方法を学ぶことができ、大変興味深かったです。今後の業務にも活かしていきたいと思います。
38	認知症について改めて学ぶ機会があまりなかったので 今回とても良い機会であった。 VRでどのように見えているかも体感でき良かった。
39	丹野さんが認知症の方にはまず「何をしたいのか？」を聞くとなりました。参考になりました。 VRも良かったです。階段が特に怖く、このように感じられているのだと初めてわかりました。
40	認知症体験のVRで貴重な体験をしました。日頃現場で働くにあたり参考にさせていただきます。「寄り添い向き合う」を頭に置き、利用者さまと接します。良い体験をさせていただきました。ありがとうございました。
41	VRは新鮮でした。認知症に初期がある。 それを支える仕組みが必要・・・なるほど！スライドが分かりやすかった。
43	自身も認知症の祖母の介護をしていたのですが、やはり古い考え方にとらわれていたと痛感しました。もっと早く知っていればと残念ではありません。今日の研修を職場で活かし、楽しく関わっていけるよう心にとどめていきたいと思っています。
44	認知症のVR体験が出来て 認知症の方の見え方がこういう風に見えるんだと思い、これからの対応を考えさせられる体験になりました。
45	専門職として働いていますが、働くことで偏った見方をしている部分があったと思います。 本日の研修にてあらたな見方ができると考えます。
46	相談を受ける中で本人家族の認知症に対する偏見の強さを感じる。プライドも邪魔して支援を受け入れられない。認知症について伝える機会を与えてもらえず、本当に問題が起こって改めて駆け込んで来る。そんな方、家族を減らしていきたいと思いました。認知症になろうがなかろうが人にやさしいまちづくりを考えて行きたいと思っています。認知症になっても心は生きている。 みんな違ってみんな尊い、あるがまま・・・当事者の思いを伝えられたらと思います。
47	認知症の方の不安になる気持ちがよくわかりました。 丹野さんの言葉は今までも何回か聞いた事はありますが、そのたびに何でも手助けすることが優しさではないと気付かされます。
50	VR体験は初めてでしたので高齢者の方が体験している実際を知ることでサポートの理解が深まると思います。医学を学ぶ学生など、初期学習に取り込まれているのかもしれませんが、推進されていけばいいのではという風に思いました。
53	VRでの体験が良かった

54	認知症の方の見え方が VR体験を通し、少し理解出来ました。 また、守るのではなく、自立を手助けするというのがよくわかったので 今後実践していきたいと思いました。今後実践していきたいと思いました。ありがとうございました。
55	自分が認知症になるのは怖い、なるのは嫌だと思っていました。なってしまったらそれはそれかと思うように感じました。また、共生社会、まわりを見渡し、自分でできることを一歩ふみだしてお手伝いできたらと思います。
56	医療従事者以外の方からの考え方を教えて頂き。大変勉強になりました。
58	VR体験をして 高齢者の視界を見ることができ、こういうふうに見えていけばそのような行動になってしまうなど感じた。認知症のイメージは悪いイメージが多いが、多くの方々にふれあってもらったり、専門職がしっかりサポートすることで悪いイメージがすこしは薄れていくのではないかと感じた。
59	実際に認知症の方のVRを体験し、認知症の方の思いを感じる事が出来ました。認知症とは言いますが、人本来の感情はそのままであり、その人らしさというものは残ると思いました。 「おばあちゃんの世界」というビデオを視聴し、おばあちゃんを受け入れ、考え方感じ方を尊重し、共に病気に向き合っている家族の姿はとても勉強になりました。
62	初期症状的に周囲の人に気付いてもらい、支えていけるようにしていく必要があると思った。
63	初めてのVR体験はよかったです。 認知症 と他の疾患（骨折等）が同時に起こっていることが多いと思いますが、施設を選択するのにどちらを優先した方が良いかわかりません。
65	VR体験の時の坂田さんの言葉が深いな～と思いました。感情体験で言葉を頭においてVRをした時、感じ方が違って勉強になりました。今も介護で様々な利用者様と関わっていますが、再度認知症について知り直すことが出来ました。ありがとうございました。
66	認知症といえば、ひとくくりにしてしまいがちであるが、初期段階では自立できる部分がたくさんある事が良かったように思う。その段階によって支援と方法を考えるべきである。
67	VRを初めて体験して、リアルでとてもおもしろかったです。 施設の研修でも使ってみたいと思いました。
68	実際に認知症になっている方の体験ができて良かったです。 誰でもなり得る病気になってしまった人はどう伝えていかわからない 常に不安を抱えている事 私達はそういうことに寄り添い、少しでも不安を取り除ける介護をしていかないといけないと思いました。
69	数分のVR体験だけでも、気持ちが不安になったり、恐怖心もあった。 立ちすくんでしまったり、時には不安で叫びたくもなる・・・と感じた。
71	認知症の人との関わりについて改めて学びました。 本人を取り巻く地域全体で取り組む必要があると考えます。 寄り添う事が大切なので今後の業務に努めていきます。 VR体験を通じて体験をできて、少しは認知症の方の気持ちを理解できたと思います。
72	VRを使用した研修で楽しめました。 普段、認知症の方と接することが多い中、今日の研修で対応の仕方を見直したいと感じました。 一人の人として尊重する気持ちを大事にしたいです。

73	今日のような研修を地域住民にも受けていただき、認知症に限らず、高齢者に優しい地域作りを目指していきたいと改めて思った。
74	バーチャル映像を体験し「こんな風に見えるんやな」って、介護する側にしても考え方や介護の仕方など変わるような気がしました。